



HITOMI HALL

現し身のことばたち第七回公演

語りふたりもよふ

『高瀬舟』 森鷗外作

竹元真一郎

『二十三年』 山本周五郎作

竹元まき子

尺八 林正弘



2021年 **11** 月 **28** 日 (日)

12 : 30 / 16 : 30 (2回公演) 全席自由 4,500 円



Menicon
ANNEX

HITOMI ホール

主催：ことばの会えくせるしあ

文豪森鷗外、時代小説の巨匠山本周五郎が描く江戸の人々

そのまっすぐで不器用な生きざまが

私たちはどう生きるのか—と問い掛けてくる

【高瀬舟】

京都の罪人を遠島へ送るために高瀬川を下る舟に、弟を殺した喜助という男が乗せられていた。護送役の同心である羽田庄兵衛は、喜助がいかにも晴れやかな顔をしていることを不審に思い、訳を尋ねる…。人間の尊厳をめぐる永遠の問い。

【二十三年】

藩が取り潰しになり、新たな仕官の道を求めて会津から伊予の国へと旅立つ新沼靱負。その時、奉公人のおかやは付いていくと言ってきた。志半ばで力尽きそうになる靱負を支えるおかやの心に秘めた一途な思い。

竹元真一郎

劇団前進座俳優養成所第一期生、劇団前進座に入座。主な舞台に文化庁芸術祭優秀賞受賞作「さんしょう太夫」の二郎、高野長英賞受賞作「水沢の一夜」啓四郎、文化庁芸術祭賞受賞作「怒る富士」初代佐太郎。有馬稲子「女優須磨子の恋」新橋演舞場公演の演技で作家賞受賞。TV 出演には、伝七捕物帳、東芝日曜劇場、NHK 大河ドラマ「勝海舟」等。退座後、名古屋にて演劇教室「フレイルーム」開設。「ことばの会えくせるしあ」自主公演の企画・制作・演出。ローズ倶楽部講師。

竹元まき子

2歳より日本舞踊を始め、師範免許取得。国立劇場、新橋演舞場等に多数出演。長唄、義太夫、声楽と異なるジャンルで声を磨く。琴生田流奥伝取得、鼓、三味線等芸事を幅広く修め劇団前進座に入座。退座後、ことばの会えくせるしあを立ち上げ、朗読家として活躍。「現し身のことばたち」シリーズをライフワークとして、従来の朗読、語りの枠を超えた舞台空間を創り上げている。中日文化センター、他朗読教室主宰。

2021.11/28(日) 12:30/16:30

*各回30分前開場

全席自由 4,500円

*未就学児のご入場はご遠慮いただいております

チケットのお求め方法

◆ことばの会えくせるしあ ☎090-9911-0428

*下記にご記入の上、FAX0584(56)0211でもお申込み頂けます

◆名古屋市文化振興事業団チケットガイド

(ナディアパーク8階) ☎052-249-9387

*本公演は新型コロナウイルス感染拡大予防対策を講じて実施します

*客席数は定員の50%以下(50名)に設定しております

*チケット半券に氏名、電話番号をご記入の上ご来場ください

HITOMI ホール

名古屋市中区葵三丁目21番19号 052-935-0918

◆メニコン ANNEX はメニコン本社の北側の建物です
【JR】千種駅地下改札口方面5番出口より徒歩4分
【地下鉄】東山線:千種駅5番出口より徒歩約4分
桜通線:車道駅4番出口すぐ左折。徒歩約7分

【FAX でのお申し込み】

ご希望チケット

12:30 公演

枚

/16:30 公演

枚

お名前

お電話番号

ご住所